

～2020年に向けたレガシー形成 11月24日「和食の日」～ 「日本の良さを東京を舞台に魅せる」 和食文化の継承、世界への発信

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会（会長：豊田章男 経団連オリンピック・パラリンピック等推進委員長）は一般社団法人和食文化国民会議（会長：伏木 亨 龍谷大学農学部教授）と連携し11月24日「和食の日」※1に日本人の伝統的な食文化「和食」をオリンピック・パラリンピック等経済界協議会への参画企業をはじめ、国内各地の1000箇所を越える社員食堂で展開し、啓発活動を行います。日本人の伝統的な和食の価値を再発見し、世界に発信することで2020年のレガシー作りに向けた契機とします。尚、本活動は東京2020応援プログラムの認証を受けています。

※1 1124（いいにほんしょく）として11月24日を「和食の日」と制定。

「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」は政府・自治体・大会組織委員会等と連携して、2020年に向けたムーブメントと、その後に残るレガシーづくりを推進しています。豊かで活力ある日本社会の実現に寄与することを趣旨として設立され、ソフトレガシー（文化・ムーブメント）と、ハードレガシー（科学技術・イノベーション）をテーマに、各種プログラムを推進・展開しています。

「和食」は2013年12月、ユネスコの無形文化遺産に登録されました※2。オリンピック・パラリンピック等経済界協議会は日本が世界に誇る食文化、「和食」の素晴らしさを日本人自身が再認識し、未来の子供たちや日本を訪れた外国人に語り継いでいくことで、世界における和食文化の定着を図ります。

※2「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」を「和食；日本人の伝統的な食文化」と題して、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

詳しくは農林水産省ホームページ：<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/ich/>

「和食の日」の取り組み

◆実施企業：凸版印刷(株)、パナソニック(株)、(株)ブリヂストン、三井物産(株)、ヤマトホールディングス(株)、(株)LIXIL、味の素(株) 他

◆実施内容：社員食堂での伝統的な和食メニューの提供。
日本の代表的な食文化である発酵調味料を活用した料理として和食の基本「一汁三菜」の献立提供。
和食を知り、食し、感じる場として啓発活動を実施。

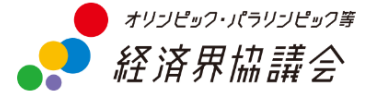


※写真はイメージです。
制作協力・画像提供：
エームサービス株式会社

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会は「ALL JAPAN」と、「Toward & Beyond 2020 - 次世代の日本のために -」を活動スローガンとして、文化・ムーブメントや、科学技術・イノベーションに関連する各種プログラムを実行していきます。

参考情報

<オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の概要>



1. 名称：オリンピック・パラリンピック等経済界協議会
2. 会長：豊田章男 経団連オリンピック・パラリンピック等推進委員長
3. 設立：2015年3月16日
4. 目的：2020年に向けたムーブメントを活用したレガシー作りを通じて、豊かで活力ある日本社会の実現に寄与することを趣旨として設立。
経団連、商工会議所、経済同友会を中心に、経済界が一丸となってオールジャパン体制で推進。
5. ホームページ：<http://kyougikai2020.jp/>

<一般社団法人和食文化国民会議の概要>



1. 名称：一般社団法人和食文化国民会議
2. 会長：伏木 亨 龍谷大学 農学部教授
3. 設立：2015年2月4日
4. 目的：「和食」のユネスコ無形文化遺産登録申請を契機に、和食文化を次世代へ継承するために設立。「和食」の価値を国民全体で共有する活動を展開。
5. ホームページ：<https://washokujapan.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

「日本の良さを東京を舞台に魅せる」ワーキンググループ④

レガシー形成テーマ：「和食文化の継承、世界への発信」

味の素株式会社 オリンピック・パラリンピック推進室

永井 敦美 TEL:03-5250-1150 E-mail: atsumi_nagai@ajinomoto.com

キッコーマン株式会社 経営企画室

東京2020オリンピック・パラリンピック担当

梅本 洋 TEL:03-5521-5875 E-mail: humemoto@mail.kikkoman.co.jp

